



札幌市西区



富良野市



訓子府町



留辺蘂駅



石狩市



滝川市

全教一斉ひのきしんデー

4月29日、全教一斉ひのきしんデーが行われた。道内は、ほとんどの地域で雨模様となり、中止や延期となった地域も多かったが、雨の中でも勇んでひのきしんに励み、喜びを分かち合う姿は、地域での大きなをいがけにつながった。

北海道教区報

第610号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

雅楽講習会

育成部

育成部(木岡喜久子部長)は、5月3日、4日の両日、教務支庁を会場に雅楽講習会を開催しました。

コロナウィルス蔓延により、令和2年から中止を余儀なくされましたが、昨年に続き、再開2年目となり、23名が受講下していました。(講師6名)

課題曲は、初級が平調「越殿楽」「五常楽急」「陪臚」の三曲。中級は双調「酒胡子」「胡飲酒」「賀殿」「陵王」の四曲。他に「越殿楽今様」を合奏練習時に歌いました。

受講者からは「色々質問でき、勉強になりました」、「素晴らしい先生方の音を聞くことができて、良い刺激になりました」、「貴重な機会でした」。



教祖140年祭

すべて喜び

すべておたすけ

北海道教区

教祖140年祭 北海道教区スローガン



管別練習

春学アフター&新歓

学生会

学生会(野村夏美委員長)は、5月18日、教務支庁を会場に、春学アフター&新入生歓迎会を開催し、12名が参加した。(学生8名、学担4名)

(古川記)



会です」という声も聞かれ、懇親会は、とても和やかな雰囲気にも包まれました。楽人の更なる技術向上と後進の育成を目指す上から、5月の連休に開催していますが、今後も学生層、若年層に呼びかけをし受講していただければと思います。

アイスブレイクや春の学生おちばがりのビデオ鑑賞、ひのきしんなどで和気あいあいと笑顔の絶えない一日となった。

4月から新生活を始めた学生に、お道の仲間たちが集う場所がある事を知ってもらい、親睦を深めようと開催した。

所感では、野村委員長が、「新学期に入り、周りの環境が新しくなった学生さんがほとんどでしたが、学年を気にせず全員が親睦を深められる行事になったと思います」と述べ、初参加者は、「初めて来たけど、みんなフレンドリーで楽しかった。また来たいと思った。」とコメント。



定例にをいかけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、5月16日、4名が参加し布教活動を行った。

心地よい春の日差しに、教祖のぬくもりを感じながら、約1時間ほど戸別訪問にまわった。この日は、中央区南7条西18丁目の、「なかよし公園」を起点として実動。インターホン越しであつても、明るい声でお道のにをいをかけ、道行く人や、公園のベンチに座る方にも、パンフレットを片手に、笑顔で声をかけた。

実動後、起点となった「なか



戸別訪問



実動後に振り返りを

よし公園」内のベンチで振り返りを行った。

その中で、定例の活動を開始してから、足掛け4年となるが、にをいかけ実動を通じて、それぞれに毎回新しい発見があることを改めて気付かされた。

やまびこ会の活動が、お互いにとって小さいながらも着実な成人への一歩となることを感じることのできる貴重な時間となった。

(代表 藤野充普)

支部委員長会議

青年会

青年会(岡田荃貴委員長)は、5月2日、教務支庁にて支部委員長・スタッフ会議を開催した。参加人数26名(リモート含む)。14時よりおつとめ、その後あら



きとうりよう指針を唱和。委員長挨拶では、今期の活動方針「熱教(ねつきよう)ー教えに熱くー」を打ち出し、年度毎の企画について説明を行った。

特に、9月中旬で活動40周年を迎える「洞爺湖緑化ひのきしん」や、来年度に開催を予定している「おやさどふしん青年会ひのきしん隊教区入隊」についての意見交換が活発に行われ、これに向けて支部行事の充実を呼びかけた。

後半は、支部委員長同士のねりあいを行い、支部活動の現状や今年度の支部行事について話



ねりあい

し合った。

支部委員長からは「教区・支部の活動・企画に精力的に取り組んでいきたい」「40周年を迎える緑化には大変思い入れがあるので必ず参加したい」とのコメントが寄せられた。

17時をもって会議を終了し、その後の懇親会では、委員長同士の交流を図った。

「教祖140年祭を目前に控えている中、道内の仲間と信仰の「熱」を高めて活動を進めてまいります」と、岡田委員長は展望を述べた。

活動40周年

洞爺湖緑化ひのきしん

9月19日～21日

育成委員長会議

少年会

少年会(大脇直丸団長)は、5月2日、教務支庁にて支部育成委員長会議を開催し、21名(内リモート7名)が参加した。

奥村教区育成委員長より、日頃の労いと少年会活動の重要性についてお話があり、続いて大脇団長があいさつ。

今回は11支部の育成委員長が交代したこともあり、改めて少年ひのきしん隊、キャンプなどの行事内容と連絡事項を確認し、その後のねりあいでは、年祭活動仕上げの年に、一人でも多くの子どもたちがおちばへかえられるよう、具体的な取組みについて意見を交わした。



育成委員長会議

教友が教えてくれたこと

— 宗谷支部長 吉川 英樹 —



日本最北端の当支部は、北は稚内市から南は美深町まで南北に140キロメートルと長く、また日本海とオホーツク海の二つの海に囲まれていて気候は厳しくも利尻礼文サロベツ国立公園をはじめ、海、山ともに自然豊かな土地柄であります。しかしながら支部内は顕著な少子高齢化により、若い人が住み続けず、都会に出ていくという構図が当たり前のようになっていた。今、支部内の教会における現状もまた同じで、いろいろな障害問題があるのは当支部内のみならず、万人が知るところでもあります。

社に3年勤務、いずれも営業畑一本の仕事をしてきた関係で、教会でお道の御用につくのがかなり遅れました。15年前に諸事情により離婚し、北海道に戻り、かねてから希望していた修養科に入学したのが約11年前のことです。

その修養科でとても仲良くしていた当時40代前半の東京の教友S君がおりました。彼は国分寺市で大教会の布教所をやっていた、修養科卒業後もおおぼに帰った際は、近況を報告しあったり食事に行ったりお互いに励ましあい、勇ませあっていました。S君はとても実直で一本気な性格をしていて、大教会の御用も素直にさせていた。たようで、私の方が年齢は7つほど上だったこともありすが、こんな私を頼りにしてくれていました。

そんな折、一昨年の年賀状に縁あって再婚したことを書き添えて送ったところ、翌1月10日付けでお祝いと一緒に手紙が届きました。そこには結婚のお祝いの言葉に加え、修養科時代が

懐かしい思い出で、私に大変世話になったこと、今後とも元気で活躍をお祈り申し上げる旨の言葉がありました。

私はその言葉の言い回しがよそよしいというか、お別れの挨拶のようで違和感を感じた。で、彼の携帯に電話をかけた。たが何回かけてもつながりません。仕方がないので自宅に電話をかけてみたところ、彼の母親が出られたので訳を話し、電話の取次ぎをお願いしたのですが、「ちょっと今は…」ということでしたので、私は違和感を感じながらも「では宜しくお伝え下さい。」と電話を切りました。その後彼の母親から手紙が届き、彼が食道癌で出直したことを知りました。手紙の中には出直すまでの経緯や思い、私に対する感謝の言葉が書かれていました。彼が癌の告知を受けたのが昨年の1月5日でしたが既にステージ4で一か月も経たないうちに再出直したとのことでした。51歳という短い人生でした。

分が大変なことになっているのに、自分のことには一切触れず、私にお祝いと感謝の言葉、そして励ましの言葉をかけてくれました。本当は自分の人生や命のことが不安で心配であるはずなのに、そのような状況でも人を勇ませ、感謝や優しさを決して忘れないという、本来お道を通る者のあるべき「真実の姿」「陽気ぐらしの態度」を彼から学ばせていただき、本当に申し訳なく、頭が下がる思いでした。今でも彼のことを思うと、神様に身上のお願いをすることができなかつたことを悔やみ、寂しく悲しい気持ちになります。彼を通して親神様、教祖は私の成人をお促しくださっているのだと思います、お詫びと御礼を申し上げた次第であります。

教祖は「真実の心とは、低い、やさしい、素直な心というのやで。」と仰せになりました。今のこの句は真実の種を蒔く時であり、おさしづに「日々種を蒔く、一つ種を蒔く。旬々の理を見て蒔けば皆実がのる。旬を過ぎて蒔けばあらへ流れ、遅れてどんならんへ、とんとどんならん。」(明治22年7月31日)とお教えたところでありました。彼の出直しがあってから、教祖140年祭の年祭活動はこの教祖のお言葉を胸に自分なりの種まきを努めさせていただこうと決めました。が、我が身可愛い私は、なかなかそれを人に映すことができず、その度に出直した彼のことを思い出せば、反省しながら通らせていただいている日々であります。

私は支部活動を始めてまだ15年ほどしか経過しておりません。会長を拝命したのも令和元年の6月であります。この度の改選により前支部長より「是非、次期支部長をお願いしたい。」という話があった際、何の実績もなく、経験も浅い自分ではないかと思いましたが、これもお神様の声なのだと思案させていただきます、会社勤めで培った経験を生かすことも視野に入れ、素直に受けさせていただきます。このことが自分自身が成人させていただくことに繋がり、ご存命の教祖に少しでもお喜びいただくことに繋がるよう、勇んで努めさせていただきます。

出直したS君が教えてくれた心の持ち方を忘れることなく、彼の分まで一日一日を大切に、残された年祭活動、そしてこれからの支部活動に邁進していきたいと考えております。

支部総会報告



5 月 9 日 41 名参加



5 月 4 日 69 名参加

新教会長さん紹介

(令和 7 年 4 月 お運び)

渡島支部 七重浜分教会 (大垣)
奉告祭 6 月 14 日



小野寺 善昭 氏
65 歳

函館支部 北開分教会 (郡山)
奉告祭 7 月 19 日



高橋 明美 氏
53 歳

函館支部 園船分教会 (郡山)
奉告祭 6 月 7 日



和井内 まさよ 氏
51 歳

旭川支部 龍旭分教会 (雨龍)
奉告祭 6 月 29 日



可児 道男 氏
47 歳

余市支部 余市港分教会 (蒲生)
奉告祭 6 月 15 日



森 芳嗣 氏
41 歳

空知支部 美瀧分教会 (郡山)
奉告祭 5 月 5 日



土本 良志郎 氏
41 歳

紋別支部 北湧分教会 (小牧)
奉告祭 6 月 14 日



伊藤 一平 氏
37 歳

苫小牧支部 松双葉分教会 (甲府)
奉告祭 6 月 7 日



内田 大和 氏
28 歳

北海道教務支庁日誌抄

5 月 1 日 福祉会議
2 日 一手一つお願いづつめ
支部長会議

会計監査
青年会支部委員長会議

少年会支部育成委員長会議
育成部雅楽講習会

札幌中南支部例会
教区長天龍支部総会出席

やまびこ会
学生会新人生歓迎会

会計部会議
教区長帰本

合唱団練習
教区長会議

本部月次祭選拜式
主事会

教区長帰庁
教務支庁ふせこみひのきしん

たすけ推進会議
第 4 回ようばく一斉活動日

◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、に
をいがけ活動を中心に実動して
います。どなたでもご参加いた
だけます。

次回は、6 月 16 日 13 時 30 分
教務支庁集合

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談
の方は弁護士を紹介致します。
所属教会を通して教務支庁
書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月 26 日に本部月次祭選拜式
を午前 10 時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未
掲載の記事や投稿いただいた記事
も随時掲載しています。
また記事の投稿もよろしくお願
い致します。

計報

立教一八八年・令和 7 年

井上フジ子様 4 月 12 日出直 (95 歳)
浪片分教会前会長夫人 (小樽支部)

狩野 厚弘様 4 月 18 日出直 (92 歳)
北鎮分教会前会長 (富良野支部)

桐谷 教子様 5 月 2 日出直 (101 歳)
陽泰分教会初代会長
陽光分教会二代会長夫人 (札幌中野支部)

大竹 精子様 5 月 4 日出直 (97 歳)
砥之川分教会元会長
余澤分教会前会長夫人 (余市支部)

元余市支部長
・森 明様 5 月 4 日出直 (74 歳)
余市港分教会前会長 (余市支部)